

TAKATORI IR REPORT

第57期 株主通信

平成24年10月1日～平成25年9月30日



証券コード：6338

株式会社タカトリ
Global Innovation "Plus One"

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期の経済状況は、欧州財政問題の長期化及びアジア諸国の景気減速により、諸外国では依然として先行き不透明感を抱える一方、日本ではアベノミクス効果による円安や株高が進み、また2020年の東京五輪開催決定に伴う経済活性化に期待が高まるなど、明るい兆しがようやく見えてまいりました。

このような経済環境の下、当期実績は低調基調が継続し、昨年発表いたしました業績予想を下方修正することとなりました。

当社といたしましては、新工場建設により生産性の向上・改善等に取り組んでまいりましたが、電子機器事業における製品需要の縮小に加え、競争激化に伴う採算の悪化及び開発遅延に伴う受注機会の逸失等により、業績は低迷いたしました。

当期につきましては厳しい業績ではありましたが、引き続き独自技術の開発に注力するとともに、医療機器分野への新規参入も視野に入れ、売上・収益の向上を目指し経営基盤の強化に努めてまいります。

また、来期より事業本部別による組織変更を行い、営業・設計・製造が一貫して管理された組織として機能することにより、「高品質・低コスト・短納期・業務のスピード化」をより一層発揮できる体制へとシフトしてまいります。

今後におきましても、役員・社員が一丸となり更なる会社の発展に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長 高島 王昌



代表取締役社長 北村 吉郎

平成25年12月

社是

創造と開拓

企業理念

「世界に誇れる独自技術を製販一体となって構築し、最良の製品とサービスを提供し、人々の暮らしを豊かにする」

1. 企業は『社会の公器』であることをまず認識し、社会と全ての協力者との相互繁栄を期そう
2. 物事の判断・実行は、お客様とタカトリのメリット・デメリットを十分検討したうえで進めよう
3. 自分の意見は、会社組織の上下関係にとらわれずははっきり発言すると共に、何でも話し合える輪を作ろう

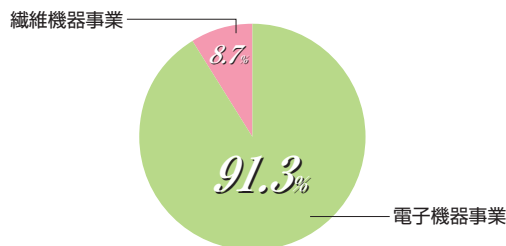
当期における世界経済は、米国では金融緩和策が下支えとなり、住宅販売及び雇用環境が回復に向かい市況が上昇基調を維持しているものの、同緩和策の縮小に対し不安視する動きも見られました。また欧州では、債務危機問題への対応が長期にわたり継続し、新興国においても世界経済の減速に伴う輸出の減少から景気が低迷しており、総じて先行き不透明感が残る状況となりました。

一方、国内経済は、アベノミクス効果による円安の進行及び株価上昇の影響から景気の回復感が広がる中、2020年の東京五輪開催決定が更に国内経済の活性化に寄与するとの期待が高まり、先行きに明るい兆しが見えてまいりました。

このような経済環境の中、当社が関わる電子部品業界においては、テレビやパソコン等の製品需要は低迷しているものの、スマートフォン（高性能携帯電話）及びタブレット端末の製品需要は堅調さを維持しており、関連メーカーの積極的な設備投資活動も見られました。しかしながら、LED関連製品につきましては、個人消費者の需要が堅調である反面、企業の設備投資抑制の動きが顕在化する状況が続きました。

このような状況の中、電子機器事業の一部で堅調さが見られたものの、事業全体としては低調に推移し、繊維機器事業につきましても同様に推移いたしました。

■ 売上高構成比



電子機器事業

液晶製造機器

液晶製造機器では、スマートフォン（高性能携帯電話）及びタブレット等の高性能携帯端末市場の拡大が継続していることから、大手液晶パネルメーカー及びEMSメーカー（受託生産企業）向けの小型液晶パネル用偏光板貼り付け機並びにその周辺機器の需要が堅調に推移いたしました。また、海外パネルメーカー向けは、前期の旺盛な需要から当期は落ち着いた状況となりましたが、国内の大手液晶パネルメーカーからの需要が活発であったことから、販売額は増加いたしました。



半導体製造機器

半導体製造機器では、省エネルギーで注目を集めているパワー半導体メーカー、車載用ICチップメーカー及びスマートフォン（高性能携帯電話）用の表面弾性波フィルターメーカーからの装置需要は比較的堅調に推移いたしました。また、液晶パネルバックライト用LEDメーカー及びLSI（大規模集積回路）関連メーカー向けの装置需要が当期は低調に推移したことから、販売額は減少いたしました。



MWS（マルチワイヤーソー）

MWS（マルチワイヤーソー）では、LED関連製品市場における装置需要が当社の予想を下回り、大きな一服感が継続いたしました。また、その他の材料用途への装置需要につきましても、販売実績はあるものの、LED関連製品向け装置をカバーできるほどの受注を獲得することができず、低調に推移いたしました。このような状況の中、販売額は減少いたしました。



繊維機器事業

アパレル業界においては、長引く経済不況の影響で設備の更新・増設が先送りされている状況が依然として続いておりますが、国内では前期より装置需要は微増いたしました。また、海外におきましても、特に東南アジアでの設備投資の兆しが見え始めており、僅かながら販売に寄与いたしました。このような状況の中、販売額は若干増加いたしました。



貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期 (平成25年9月30日現在)	前期 (平成24年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	3,815,125	6,749,224
固定資産	3,397,844	2,271,502
有形固定資産	2,721,095	1,754,651
無形固定資産	13,220	18,018
投資その他の資産	663,528	498,832
資産合計	7,212,969	9,020,726

科目	当期 (平成25年9月30日現在)	前期 (平成24年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	2,143,813	3,837,536
固定負債	822,219	529,119
負債合計	2,966,033	4,366,655
純資産の部		
株主資本	4,240,029	4,652,010
資本金	963,230	963,230
資本剰余金	1,352,321	1,352,321
利益剰余金	1,941,786	2,353,741
自己株式	△17,308	△17,283
評価・換算差額等	6,906	2,061
純資産合計	4,246,936	4,654,071
負債純資産合計	7,212,969	9,020,726

損益計算書

(単位：千円)

科目	当期 (平成24年10月1日から 平成25年9月30日まで)	前期 (平成23年10月1日から 平成24年9月30日まで)
売上高	5,045,945	8,338,035
売上原価	4,257,007	6,318,907
売上総利益	788,938	2,019,128
販売費及び一般管理費	1,251,962	1,708,125
営業利益又は営業損失(△)	△463,023	311,002
営業外収益	251,151	82,301
営業外費用	17,042	8,381
経常利益又は経常損失(△)	△228,914	384,921
特別利益	—	899
特別損失	—	1,440,329
税引前当期純損失(△)	△228,914	△1,054,507
法人税、住民税及び事業税	3,293	37,800
法人税等調整額	133,333	△214,169
当期純損失(△)	△365,541	△878,138

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期 (平成24年10月1日から 平成25年9月30日まで)	前期 (平成23年10月1日から 平成24年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,243,443	891,981
投資活動によるキャッシュ・フロー	△249,291	257,509
財務活動によるキャッシュ・フロー	△428,982	610,460
現金及び現金同等物に係る換算差額	50	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,921,666	1,759,948
現金及び現金同等物の期首残高	2,410,823	650,874
現金及び現金同等物の期末残高	489,157	2,410,823

Topics 1**平成24年度補正 ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金事業に採択**

平成25年6月

中小企業庁が推進する平成24年度補正ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金事業に「カバーガラス一体型タッチパネル用化学強化ガラスの高効率・高精度切断加工装置の開発」が採択されました。本事業では、カバーガラス一体型タッチパネル用化学強化ガラスに固定ダイヤモンドワイヤーを用いた高効率・高精度な切断加工を実現する装置開発を行い、切断加工機市場の獲得を目指します。

Topics 2**平成25年度 戦略的基盤技術高度化支援事業に採択**

平成25年7月

近畿経済産業局が推進する平成25年度戦略的基盤技術高度化支援事業に「樹脂コーティングワイヤーと遊離砥粒とを用いたSiCウエハの鏡面スライシング加工技術の開発」が採択されました。本事業では、樹脂コーティングワイヤーと遊離砥粒とを用いた鏡面スライシング加工技術を確立し、ウエハの薄化、後工程の時間短縮など、大幅なコストダウンを目指します。

Topics 3**平成25年度 課題解決型医療機器等開発事業に採択**

平成25年8月

経済産業省が推進する平成25年度課題解決型医療機器等開発事業に「難治性胸腹水の外来治療を可能とするモバイル型胸腹水濾過濃縮処理装置の開発」が採択されました。

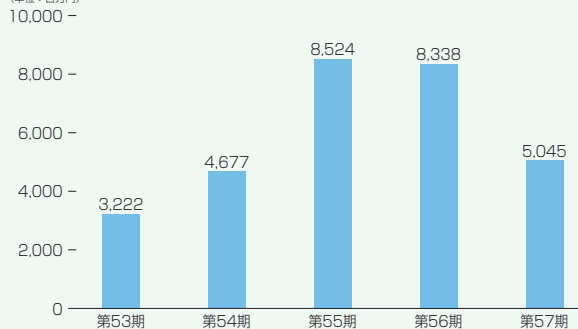
本事業では、濾過濃縮処理の経験のない医師や看護師が簡単に短時間の実働で処理でき、治療時間短縮による外来治療を可能とする、安価なモバイル型胸腹水濾過濃縮処理装置を開発します。



【開発拠点】徳島大学 藤井節郎記念医科学センター内

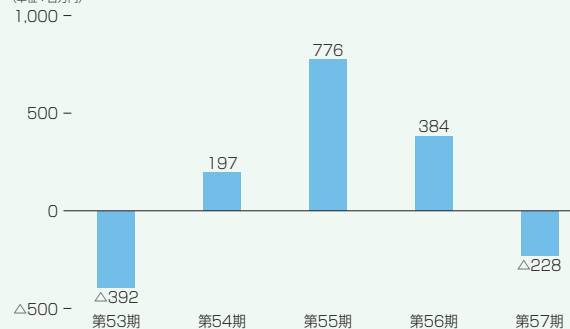
売上高

(単位：百万円)



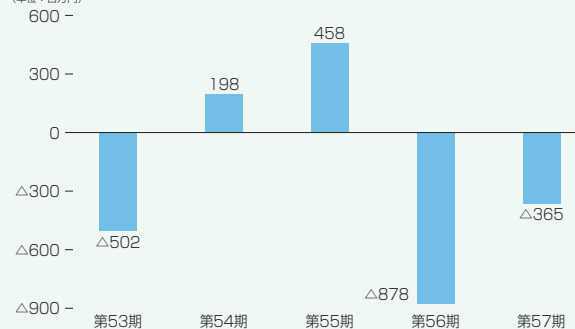
経常利益又は経常損失 (△)

(単位：百万円)



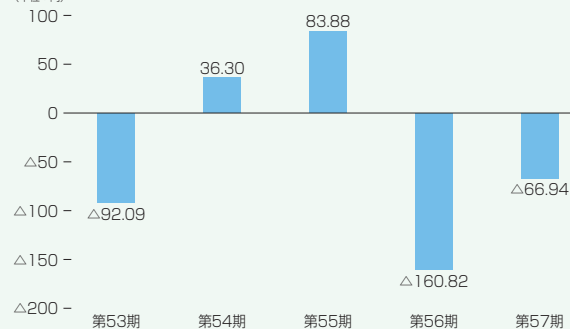
当期純利益又は当期純損失 (△)

(単位：百万円)



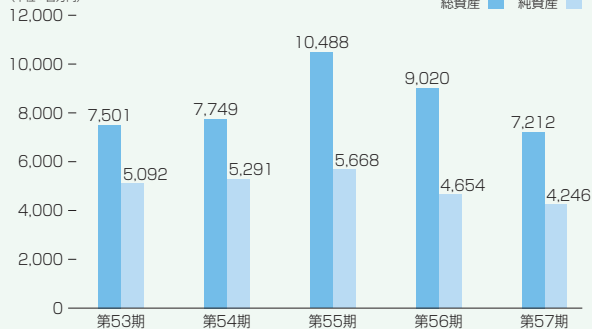
1株当たり当期純利益又は当期純損失 (△)

(単位：円)



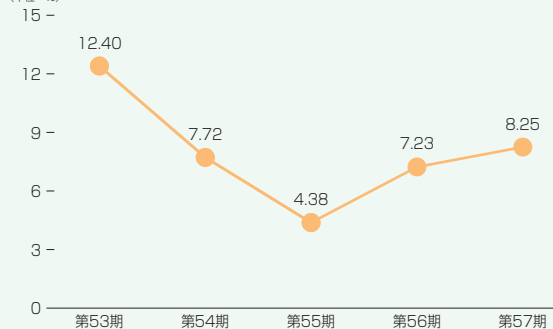
総資産／純資産

(単位：百万円)



売上高研究開発費比率

(単位：%)

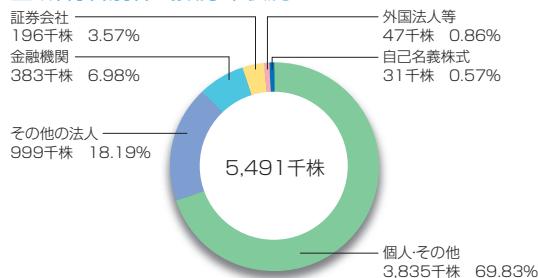


株式の状況 (平成25年9月30日現在)

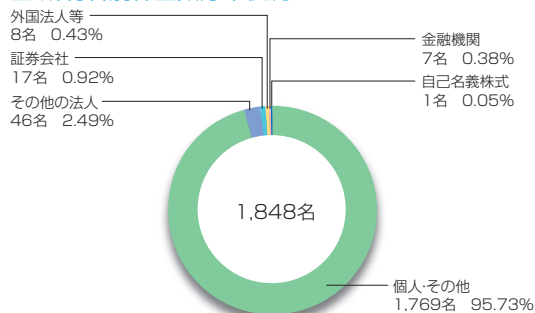
- 発行可能株式総数 17,000,000株
- 発行済株式の総数 5,491,490株
- 株主数 1,848名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
(有) コトブキ産業	379,844	6.91
タカトリ共栄会	352,200	6.41
高鳥王昌	344,800	6.27
大阪中小企業投資育成(株)	187,250	3.40
タカトリ従業員持株会	154,132	2.80
井上久雄	128,000	2.33
高鳥政廣	113,825	2.07
西村幸子	103,500	1.88
(株) 南都銀行	95,000	1.72
日本生命保険相互会社	94,500	1.72

所有者別株式数分布状況



所有者別株主数分布状況



会社概要 (平成25年9月30日現在)

- 商号 株式会社タカトリ
- 本社 奈良県橿原市新堂町313番地の1
TEL.0744-24-8580 FAX.0744-24-6616
- 関連会社
 - 株式会社エムテーシー
埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-779-4
 - ウインテスト株式会社
神奈川県横浜市西区平沼1丁目2-24
- 営業所 九州営業所 熊本県合志市幾久富1909-539
- 設立 昭和31年10月
- 資本金 963,230千円
- 代表者 代表取締役会長 高鳥 王昌
代表取締役社長 北村 吉郎
- 従業員 211名 (顧問・嘱託・パートタイマー等除く)
- 事業内容 電子部品製造機器の製造及び販売、繊維機械の製造及び販売

役員 (平成25年12月20日現在)

- 代表取締役会長 高鳥 王昌
- 代表取締役社長 北村 吉郎
- 取締役副社長 増田 誠
- 取締役 松田 武晴
- 取締役 大西 正純
- 取締役 出口 昌道
- 常勤監査役 雁野 良博
- 監査役 山田 磯子
- 監査役 大西 大介

株主メモ

事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで

定時株主総会 毎年12月下旬

基準日 定時株主総会 9月30日
剰余金の配当 期末9月30日
中間3月31日

当中間配当につきましては、無配とさせていただきます。また、当期末配当につきましても、業績の低迷が継続したことによる収益性の低下により、誠に遺憾ではございますが無配とさせていただきますこととなりました。今後とも財務体質及び経営基盤の健全化を図り、ご期待に沿うべく業績の向上に注力してまいります。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行う
当社ホームページ (<http://www.takatori-g.co.jp>)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

<http://www.takatori-g.co.jp>



株式会社タカトリ
Global Innovation "Plus One"

奈良県橿原市新堂町313番地の1